



一次予備で一番覚えていることは、サイト地から帰らなければならなくなったことです。初めての内ワークを不安に思いながらも楽しみにしていたので、残念でした。僕らがテントの設営をしている時、管理人らしき人が少し怒ったような顔でリーダーさん達と話していたのが印象的でした。来年からはどうなるのでしょうか？と僕も今から心配になりました。

(56期 理1 河相圭亮)

やっとテスト終わった！夏休みや！一次予備？ああ、サイト地から追い出されたりして大変やったなあ。結局、明道館で内ワークをすることになって、鶏の蒸し煮とタコの酢の物をつくった。脱汁物をコンセプトにして考えた食当計画が成功して良かった。山行中はずっと曇っていて、快適だった記憶がある。三次予備、そして夏合宿へ向けて、二回生としての自覚をもって、一次予備の経験を生かしていこうと思う。(55期 法2 野田英明)

---

2011/6/18～19, 25～26 二次予備 ～終わりのない下り～

---

今回の二次予備合宿は2パーティずつ、2回に分けて行われました。山域は例年通り比良山系です。初日は比良駅から八雲に向かいそこでサイト。一次予備ではサイトができなかったのも、一回生にとっては初めてのテント泊です。2日目は打見山、蓬萊山を經由し志賀駅へ下りました。どちらの日程も梅雨の時期ではあったものの天候には比較的恵まれ、雨に降られるということはほとんどありませんでした。それでも一次予備合宿よりつらいといわれる今回の合宿。1日の行程の長さは最大級で、2日目のクロトノハゲからの終わりの見えない下りには、多くの一回生が絶望したことでしょう。待ちに待ったボッカ解放時には、みな安堵の表情を浮かべていました。

(文責 笹原)

---

次の三次予備で高山に行くためには必要な訓練だから、と先輩が言うので我慢したけど、正直行ってキツすぎです。急勾配の雪のないグレンデを登り、新歓合宿で「うわあ、今度はこの道逆走しないとイケないのかよ～」と思いながら下った道を登り、景色の変わらない森の中をただひたすら歩きました。道中憎きブヨにはやたら噛まれるし(この痕は1ヵ月以上経った今でも消えない)、途中で気持ちが折れそうになったりもしました。

鬼のような合宿でしたが、辛いことだけではなかったです。山行中の会話は楽しかったし、一次予備では出来なかったテントでの食事や睡眠などは新鮮でした。少しの先も見えないような霧の中で歩いたのは、暑かったですけど、なんだか癒されました。

雲海を見る、という僕の目標は三次予備でひとまず達成されそうです。これからもこの経験を元に、楽しいワンゲル活動を続けていきたいと思っています。

(56期 工1 松尾勇太)

1日目の夜、僕は初めて米を炊きました。先輩に教えてもらいながら手探りで、何とか炊きあげました。ビギナーズ・ラックという言葉があるように初めてだったからうまく炊けたのかもしれませんが。米が上手く炊けるかどうかは、パーティの次の日のモチベーションを上げるか下げるかを定める重要な要素だと思います。次回からも上手く炊けるように自分の腕を磨いていきたいと思います。

(56期 文1 林貴哉)

1日目は想像以上の虫の数に驚き、2日目は終わりの見えない打見山、蓬莱山の一定の傾斜の登りに絶望を感じました。天気が崩れなかったことだけが唯一の救いです。しかしその分、テントの外で飲んだ温かいクリームオニオンスープの味は、自分が食当だったということもあり心に残りました。自分は体調不良で一次予備に参加できなかったのも、久々の合宿は山のしんどさを思い出させる良い経験になったと思います。

(55期 基2 武内基彦)

進級してから勉強が一層辛くなりだし、下界に嫌気がさしてきたので、山に登るのはいいリフレッシュになりました。去年は二次予備で山が若干トラウマになったのですが、今年は楽しく登れたと思います。今年の一回生はかなり体力があるようで、去年腰が痛いやら、足が痛いやら、のどが乾いたやら、文句ばかりこぼしていた自分とは大違いでした。三次予備のアルプスが楽しみです。

(55期 基2 五十嵐尋)

---

2011/7/9 夏祭り ～「焼きそばはソースだ」「いや、塩だ」～

---

一回生の話し合いにより、塩焼きそばを屋台で出すことになりました。いろいろレシピ案を出して行って、市販の塩ダレの味に落ち着いたときは少し悲しかったですが、結果的に効率よく調理出来て良かったかなと思います。祭り当日の一週間前からみんな急にドタバタと準備し始めて、なんとか間に合わせることができました。7月9日当日は先輩方にも色々手伝っていただき、たくさん購入してもらいました！！トラブル（冷蔵庫が止まったり、氷が足りなくなったり）はありましたが、結果的に完売ということで、運営する側として素直に嬉しかったです。調理・会計・売り出しなど、なでしこジャパンばりの見事なチームワークで、56期の絆もより一層深まったと思います！！

(56期 法1 梅澤啓)

幸いにも祭り当日は晴れたので、炎天下の中、焼きそばを焼くという苦行をすることになってしまいました。しかし、部員の一人はほぼ一日中焼きそばを焼いていて、タフだなあと思いました。残念ながら赤字になってしまいましたが、全て売り切ったときは達成感がすごく、感動しました。事前の準備などいろいろと大変でしたが、とても楽しく、充実した夏祭りでした。

(56期 経1 増井慎一)

2011/8/13～17 三次予備 ～北は暴風、南は快晴～

三次予備は 1,2party は鳳凰三山、3,4party は白馬岳に行きました。一回生にとっては初めての高山で楽しみにしていた人も多かったはずですが。鳳凰三山はずっと快晴だったらしく、稜線からの景色を存分に楽しめたようです。(いいなあ…)

それに引き換え白馬岳は稜線上を歩いた 2 日目、3 日目は吹き飛ばされそうなくらいの強風で、ガスがかかって視界は数メートル先も見えないという最悪の天気。3 日目の終盤は天気がよくなり景色も楽しめたのが不幸中の幸いです。

3 回の錬成合宿を通して、どの一回生も体力的、精神的に成長しているのが目で見えます。これから控えるワングル前期活動の集大成である夏合宿を、思う存分楽しんでほしいです。

(文責 笹原)

### 《鳳凰三山》



奇跡的に全行程晴れだったので山行自体は意外と楽しめました。ワーク力も初日は壊滅的だったのですが、リーダーさん達の熱心な指導もあって 3 日間でだいぶ成長できました。途中に見えた朝日に輝く富士山は絶景でした。また行きたいな、とも思いました。

あと、下山後のステーションならぬキャッスル(甲府城での雑魚寝)が一番しんどかったです。これも慣れていかないといけないのだなと思いました。(56 期 理 2 山下聡史)



三次予備の思い出。稜線歩きの際に見える絶景。山行初日は一次、二次予備の風景とあまり変わらず、高山に来たという感じを持たなかったのですが、次の日からは雲も少なく遠くまで見通せ、来て良かったと思いました。その中でも地藏岳でのパノラマが最高で、これは分かりにくくて恐縮なのですが、遠くに山が見え、その手前にある雲海によって橙色の空が二分されているのが本当に綺麗で、とても感動しました。

(56 期 工 1 掘裕貴)

## 《白馬岳》

涼しい稜線歩きを期待して行きましたが、実際には涼しいを通り越して凍えるほどの天候となりました。中盤はガスで視界が真っ白でしたが、終盤に近づくと雲が少し晴れ、高山らしい爽やかな景色を一望することができました。鍾温泉小屋の風呂は色々と新鮮でした。また、食当に関して夏合宿に向けての課題が見つかったので、次に生かしたいと思います。そして、打ち上げの焼き肉がおいしかったです！

(55期 工2 角野惇)



激しいテスト明けの北アルプスは最高でした。都会の大阪と違って空気が良く、程良い涼しさの中の山行で、とても清々しい気分で合宿を送れました。一つ後悔があるとすれば、白馬岳の頂上付近が大荒れで、景色が真っ白だったことです。今回の合宿の目玉であるはずの白馬岳を完全にスルーしたのは非常に残念なことです。夏合宿は天気が良くなることを祈っています。

(55期 基2 五十嵐尋)

---

メルマガ8月号、楽しんでいただけたでしょうか？ギャラリーページにも沢山写真を載せましたので、そちらもお楽しみください！

〈<http://www.ouwv54.org/mailmagazine/gallery1108.html>〉

さて、前回のアンケートは『新歓合宿での思い出は？』でした。初めての山ということでやはり疲れた、上回生の起床後の素早さに驚いた、シュラフをたたむのに苦労したなどがあり、ものすごく共感しながら読ませていただきました。以前は山小屋ではなくテント泊の新歓で、下山後薪を集めてキャンプファイヤーをしていたようです。今の新歓とは大きく違いとても新鮮でした。沢山の返信ありがとうございました。

今回のアンケートは『心に残る係の仕事は？』です。よろしくお願ひします。

〈<http://www.ouwv54.org/enquete/enqform1108.html>〉

メルマガ委員：大江康子、笹原貴志